



飛躍への挑戦！
高知県産業振興計画

平成30年度嶺北地域アクションプランの
追加、削除、拡充等（予定項目）について

嶺 北 地 域 本 部

平成30年2月5日（月）

地域アクションプランの動向

H29年度 241 → H30年度 236 (▲5)

地 域	H29年度 (第3期ver.2)	H30年度 (第3期ver.3)				
	AP数 H29.9.19時点	追 加	削 除	統 合	小 計	AP数
安 芸	32	0	0	(2→1) ▲ 1	▲ 1	31
物部川	27	0	▲ 1	0	▲ 1	26
高知市	30	0	0	0	0	30
嶺 北	23	1	0	0	1	24
仁淀川	38	0	▲ 1	0	▲ 1	37
高 幡	43	0	▲ 2	0	▲ 2	41
幡 多	48	1	▲ 2	0	▲ 1	47
合 計	241	2	▲ 6	▲ 1	▲ 5	236

※ 削除6件のうち、自立:2件
産業成長戦略として実施:2件

嶺北地域アクションプラン項目（第3期計画ver.2（H29年度）と

No.	平成29年度	本 山 町	大 豊 町	土 佐 町	大 川 村
		17	18	17	14
1	れいほくブランドの園芸産地の維持	●	●	●	●
2	JA出資型法人((株)れいほく未来)を核とする地域活性化の取組	●	●	●	●
3	ユズ産地の確立と加工・販売の促進	●	●	●	
4	天空の郷ブランドによる地域活性化の取組	●			
5	(株)大豊ゆとりファームを核として地域資源の活用により地域産業を持続化させる取組		●		
6	土佐あかうしの競争力の確保による肉用牛産業の再興	●	●	●	
7	土佐はちきん地鶏・大川黒牛を活用した畜産業の活性化				●
8	嶺北地域における林業クラスター化の取組	●	●	●	●
9	れいほくスケルトン(嶺北材の邸別販売)の促進及び建築人材の育成	●	●	●	●
10	特用林産物(シキミ、サカキ)の販売促進	●	●	●	●
11	嶺北の山林をフィールドとした「森の教習所」による担い手育成の取組			●	
12	嶺北地域の特産品販路拡大への支援	●	●	●	●
13	クラウドファンディングを活用した地域活性化	●	●	●	●
14	ぼうむ合同会社による地域資源(木材・米)活用の取組	●			
15	碁石茶を中心とした加工品ビジネスの展開		●		
16	嶺北材を活かしたオリジナル木工品の製造・販売による地域活性化			●	
17	嶺北地域の連携による交流人口の拡大	●	●	●	●
18	嶺北広域観光アウトドアの里づくり	●	●	●	●
19	嶺北地域における山岳観光の拠点整備	●	●	●	●
20	さめうら湖の活用をはじめとしたスポーツ・ツーリズムの振興	●	●	●	●
21	嶺北地域の連携による移住促進の取組	●	●	●	●
22	学生・若者と地域の連携による事業創出支援プラットフォーム「ONEれいほく」の構築	●	●	●	●
23	大豊町西峯地区におけるビジネス創出による地域活性化の取組		●		

第3期計画Ver.3 (H30年度) の対比表

【嶺北地域】

				No.	平成30年度
本山町	大豊町	土佐町	大川村		
17	18	18	14		
	●	●	●	1	れいほくブランドの園芸産地の維持
	●	●	●	2	JA出資型法人((株)れいほく未来)を核とする地域活性化の取組
	●	●		3	ユズ産地の確立と加工・販売の促進
	●			4	天空の郷ブランドによる地域活性化の取組
	●			5	(株)大豊ゆとりファームを核として地域資源の活用により地域産業を持続化させる取組
	●	●		6	土佐あかうしの競争力の確保による肉用牛産業の再興
①拡充			●	7	土佐はちきん地鶏・大川黒牛を活用した畜産業の活性化
	●	●	●	8	嶺北地域における林業クラスター化の取組
	●	●	●	9	れいほくスケルトン(嶺北材の邸別販売)の促進及び建築人材の育成
	●	●	●	10	特用林産物(シキミ、サカキ)の販売促進
②拡充	●	●	●	11	嶺北地域の特産品販路拡大への支援
	●	●	●	12	クラウドファンディングを活用した地域活性化
	●			13	ばうむ合同会社による地域資源(木材・米)活用の取組
	●			14	基石茶を中心とした加工品ビジネスの展開
		●		15	嶺北材を活かしたオリジナル木工品の製造・販売による地域活性化
追加		●		16	嶺北地域で140年続く酒蔵の地産外商を核とした地域の活性化
③拡充	●	●	●	17	嶺北地域の連携による交流人口の拡大
	●	●	●	18	嶺北広域観光アウトドアの里づくり
	●	●	●	19	嶺北地域における山岳観光の拠点整備
	●	●	●	20	さめうら湖の活用をはじめとしたスポーツ・ツーリズムの振興
	●	●	●	21	嶺北地域の連携による移住促進の取組
	●	●	●	22	学生・若者と地域の連携による事業創出支援プラットフォーム「ONEれいほく」の構築
④拡充	●			23	大豊町西峯地区におけるビジネス創出による地域活性化の取組
⑤拡充		●		24	集落活動センターいしはらの里による地域活性化の取組

嶺北地域アクションプランの追加・削除・拡充等（予定項目）

■追加

NO.	アクションプラン名	事業概要
1	嶺北地域で140年間続く酒蔵の地産外商を核とした地域活性化（土佐町） 【事業主体】土佐酒造（株）	地元産の酒米にこだわった特徴ある日本酒を安定供給し、国内外への販路を拡大するために、新工場（酒蔵）及び原料米の貯蔵・処理施設を整備し、品質向上に取り組むことによって、地産外商による農業、経済及び地域社会の活性化を実現する。

■削除 なし

■その他(拡充)

NO.	アクションプラン名	見直しする内容
1	No.7 土佐はちきん地鶏・大川黒牛を活用した畜産業の活性化（大川村）	【拡充】土佐はちきん地鶏の生産・販売の取り組みに、堆肥舎の整備を追加する。
2	No.11 嶺北の山林をフィールドとした「森の教習所」による担い手の育成の取組（土佐町） 【事業主体】いしはらの里協議会、土佐町、民間事業者（(株)FPI）等	【拡充】主な内容に、交流人口の拡大や地元木材を活用した住宅プロジェクトを追加する。 また、プラン名を「集落活動センターいしはらの里による地域活性化の取組」に変更する。
3	No.12 嶺北地域の特産品販路拡大への支援（嶺北地域全域） 【事業主体】㈱れいほく未来、NPO法人土佐さめうら観光協会、ポータルサイト利用事業者、土佐町、本山町、大豊町、大川村	【拡充】主な内容に、道の駅土佐さめうらの拠点機能の活用を加える。
4	No.17 嶺北地域の連携による交流人口の拡大（嶺北地域全域） 【事業主体】嶺北地域観光・交流推進協議会、本山町、大豊町、土佐町、大川村	【拡充】主な内容に、嶺北地域における地域博覧会の開催を加える。
5	No.23 大豊町西峯地区におけるビジネス創出による地域活性化の取組（大豊町） 【事業主体】西峯地区活性化推進委員会、大豊町	【拡充】スギ苗木（コンテナ苗）生産の取り組みに施設整備（栽培施設）を追加する。

有望素材シート（30年度）（案）

『地域アクションプラン』検討過程での有望素材の洗い出し

市町村名	土佐町	素材名 関連素材	嶺北地域で140年間続く酒蔵 × 中山間地の棚田 × 高知県産酒造好適米「吟の夢」
現状・課題	<p><現状> 清酒「桂月」の製造で知られる土佐酒造株式会社（本店：土佐郡土佐町）は嶺北地方にて創業以来、140年間続く酒蔵である。造られる酒は、長年、地域の祭りや行事の場で酌み交わされ、地域からも愛される存在となっている。同社では、「Localを追求することが唯一無二の個性を生み、結果としてGlobalに通用する」という理念のもと酒造りをしており、県内大多数の酒蔵が「県外産」の原料米を使用する中（75%が県外産、県産はわずか25%に過ぎない）、使用する原料米は全て地元「嶺北地域産」であることにこだわっている。</p> <p>また、土佐町相川地区をはじめとする棚田の気候条件（昼夜の寒暖差、日照条件、綺麗な水・空気等）に酒米の生産適地としての可能性があることに着目し、地元嶺北地域が有名な酒米「山田錦」の名産地にも負けない、日本を代表する酒米産地となるよう、地元農家との協働により、特別栽培等のより自然環境に優しい農法を奨励し、高知県産酒造好適米「吟の夢」の契約栽培を年々拡大している。</p> <p>その「吟の夢」を使用したスパークリング酒「匠（John）」は、世界最大規模のワイン品評会「International Wine Challenge 2016（スパークリング酒部門）」で最高位トロフィーを受賞。英国 BBC(Chanel4 2017.9.24放送) や Financial Times(2017.11.10版)をはじめとするメディアでも取り上げられ、現在は世界23ヶ国に日本酒の輸出を行い、国内のみならず海外にも販路を拡大している。</p> <p><課題> 同社では、地元嶺北産の最高の素材を活かした酒造りを急速に拡大しているところであるが、現在の酒蔵(築120年)の設備及び能力では、製造能力、原料及び製品の貯蔵能力、品質保持、労働環境の安全性の面から見て限界があり、次の100年に繋がるような体制の構築が望まれるところである。また、産地にこだわる原料調達、台風、冷害等の気象条件による影響を受ける場合がある（例えば、平成29年産高知県産酒造好適米「吟の夢」は収穫期における台風の影響の為、計画数量よりも1割以上収量が低い結果となった）ため、安定的な生産活動を行うためには、一定の対策が必要である。</p>		
今後の方向性	<p>新工場(酒蔵)の整備により、地元産原料米を使用した日本酒の製造能力を増強し、貯蔵能力及び品質向上、労働環境の安全性向上を実現する。原料米の貯蔵・処理施設を整備し、一定量の原料を安全在庫として品質を損なわないよう貯蔵することで、台風等の気象条件によって大きく変動する事のある原料米の供給リスクを低減する。上記2つの施策により、地元産の酒米にこだわった特徴ある製品の増産と安定供給を実現し、並行して日本全国、そして世界へと商品の輸出を拡大することで、地産外商による農業、経済及び地域社会の活性化を実現する。地域に根差した事業の拡大を通じ、これまで140年間に渡って同社を支えてくれた地域社会への恩返しをする。</p>		

「有望素材」を活かした具体的な取り組み（案）

『地域アクションプラン』における具体的な取り組み案

項目	取り組み名	嶺北地域で140年間続く酒蔵の地産外商を核とした地域活性化				
	関係市町村名	土佐町				
事業の概要	<p>新工場(酒蔵)の整備により、地元産原料米を使用した日本酒の製造能力を増強し、貯蔵能力及び品質向上、労働環境の安全性向上を実現する。原料米の貯蔵・処理施設を整備し、一定量の原料を安全在庫として品質を損なわないよう貯蔵することで、台風等の気象条件によって大きく変動する事のある原料米の供給リスクを低減する。上記2つの施策により、地元産の酒米にこだわった特徴ある製品の需要に応じた安定供給を実現し、並行して日本全国、そして世界へと商品の輸出を拡大することで、地産外商による農業、経済及び地域社会の活性化を実現する。</p>					
事業主体等	<p>【事業主体】 土佐酒造株式会社</p> <p>【関係機関】 土佐町</p>					
主な内容・スケジュール	取組手順	事業実施【H30】	1年後【H31】	2年後【H32】	3年後【H33】	4年後【H34以降】
	製造能力及び貯蔵能力の拡大					
	地元産原料米の調達拡大					
	原料米 貯蔵・処理施設の整備					
	雇用の創出及び経済活性化					
指標・目標	項目	事業実施【H30】	1年後【H31】	2年後【H32】	3年後【H33】	4年後【H34以降】
	製品売上高	145,000千円	160,000千円	180,000千円	200,000千円	220,000千円
	地元産原料米調達量	85 t	95 t	105 t	115 t	125 t
	従業者数	14人	16人	18人	20人	22人
	【設定根拠】	【推計の考え方】 新工場（酒蔵）及び原料集荷・貯蔵・処理施設の整備により、製品の増産及び天候不順等のリスクへの対応を強化し、安定的な売上成長を見込む。				
総事業費等	<p>総事業費 150,000千円（うち30年度 80,000千円） （内訳 国： 県：40,000千円 市町村： その他：110,000千円）</p> <p>想定する支援事業（補助金名称、人的支援の内容、その他） 国： 県：産業振興推進総合支援事業費補助金 人的支援： その他：</p>					
備考						

追加項目(案)

【嶺北地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
16 嶺北地域で140年間続く酒蔵の地産外商を核とした地域活性化 《土佐町》	地元産の酒米にこだわった特徴ある日本酒を安定供給し、国内外への販路を拡大するために、新工場(酒蔵)及び原料米の貯蔵・処理施設を整備し、品質向上に取り組むことにより、地産外商による農業、経済及び地域社会の活性化を実現する。	・土佐酒造(株)	アクションプランの取組開始：H30		<p>◆製造能力及び貯蔵能力の拡大</p> <p>◆地元産原料米の調達拡大</p> <p>◆原料米 貯蔵・処理施設の整備</p> <p>◆雇用の創出及び経済活性化</p>

第3期計画				H32以降	指標及び目標	
H28	H29	H30	H31		指標	目標値(H31)
		<p>製造能力及び貯蔵能力の拡大</p> <p>新工場(酒蔵)の整備</p>			売上高 (H28:135,000千円)	160,000千円
		<p>地元産原料米の調達拡大</p> <p>原料米増産に向けた調整・検討</p>	<p>中山間地の棚田を中心とした、地元産原料米調達拡大による、地域農業の活性化</p>		地元産原料米調達量 (H29:77t)	95t
		<p>原料米 貯蔵・処理施設の整備</p> <p>原料米 貯蔵・処理施設の検討</p>	<p>原料米 貯蔵・処理施設の整備</p>			
		<p>雇用の創出及び経済活性化</p> <p>生産量拡大及び設備投資による雇用の拡大、経済の活性化、移住者雇用による地域社会の活性化</p>			従業者数 (H29:13人)	16人

修正項目(案)

【嶺北地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
7 土佐はちきん地鶏・大川黒牛を活用した畜産業の活性化 《大川村》	大川村の基幹産業である畜産の振興により地域の活性化を図り、雇用の確保、所得の向上につなげる。	・(株)むらびと本舗 ・(一社)大川村ふるさとむら公社 ・大川村	アクションプランの取組開始:H21 ＜大川黒牛＞ ・繁殖雌牛の保留・更新(H21～28) ◆大川村の支援等により、57頭(H28)まで繁殖雌牛が増頭できた。 ・国のクラスター事業及び県の産業振興推進事業費補助金を活用し、肥育牛舎の建替を行った。(H27～28) ◆肥育牛舎の建替により、年間70頭の出荷体制による繁殖肥育一貫経営が構築できるようになった。 ＜土佐はちきん地鶏＞ ・生産施設の整備(レンタル鶏舎)(H21～28) ◆産業振興推進事業費補助金を活用し、施設整備や施設の改築を行い、10万羽まで生産が可能になった。(H21～22) ・販売促進活動(H21～28) ・大川村プロジェクトを定期的に関催し、生産体制の改善と収益性確保について検討した。(H26～28)	＜大川黒牛＞ ・繁殖雌牛の高齢化 ・繁殖雌牛の増頭及び育成経費の確保 ・肥育牛の増産 ＜土佐はちきん地鶏＞ ・飼養管理技術の習得 ・出荷体制の改善 ・生産原価の上昇 ・収益性確保のための増羽体制及び施設整備	＜大川黒牛＞ ◆繁殖雌牛の増頭、繁殖牛の1年1産体制の確立、70頭出荷体制の構築(繁殖肥育一貫経営) ＜土佐はちきん地鶏＞ ◆飼養管理技術の向上及び食鳥処理施設の整備・稼働並びに付加価値販売



修正前



【嶺北地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
7 土佐はちきん地鶏・大川黒牛を活用した畜産業の活性化 《大川村》	大川村の基幹産業である畜産の振興により地域の活性化を図り、雇用の確保、所得の向上につなげる。	・(株)むらびと本舗 ・(一社)大川村ふるさとむら公社 ・大川村	アクションプランの取組開始:H21 ＜大川黒牛＞ ・繁殖雌牛の保留・更新(H21～) ◆大川村の支援等により、57頭(H29)まで繁殖雌牛が増頭できた。 ・国のクラスター事業及び県の産業振興推進事業費補助金を活用し、肥育牛舎の建替を行った。(H27～28) ◆肥育牛舎の建替により、年間70頭の出荷体制による繁殖肥育一貫経営が構築できるようになった。 ＜土佐はちきん地鶏＞ ・生産施設の整備(H21～22、H27～29) ◆産業振興推進事業費補助金等を活用し、施設整備や施設の改築を行い、12.5万羽まで生産が可能になった。 ・販売促進活動(H21～) ・大川村プロジェクトを定期的に関催し、生産体制の改善と収益性確保について検討している。(H26～) ◆産業振興推進事業費補助金を活用し、付加価値を向上させるためのHACCP対応の食鳥処理・加工施設の整備を行い、村内で生産、加工、流通、販売までを一貫して取り扱う体制が整った。(H28～29)	＜大川黒牛＞ ・繁殖雌牛の高齢化 ・繁殖雌牛の増頭及び育成経費の確保 ・肥育牛の増産 ＜土佐はちきん地鶏＞ ・飼養管理技術の習得 ・出荷体制の改善 ・生産原価の上昇 ・収益性確保のための増羽体制及び施設整備 ・増羽に伴う糞糞の適正処理	＜大川黒牛＞ ◆繁殖雌牛の増頭、繁殖牛の1年1産体制の確立、70頭出荷体制の構築(繁殖肥育一貫経営) ＜土佐はちきん地鶏＞ ◆飼養管理技術の向上及び食鳥処理施設の整備・稼働並びに付加価値販売

修正後

第3期計画					H32以降	指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	指標		目標値(H31)	
 <p><大川黒牛>繁殖雌牛の増頭、繁殖牛の1年1産体制の確立、70頭出荷体制の構築(繁殖肥育一貫経営)</p>					黒牛の販売額 (H19: 70,000千円) (H25: 45,000千円) (H26: 34,000千円)	54,900千円	
繁殖雌牛の増頭							
繁殖牛舎の改修							
 <p><土佐はちきん地鶏>飼養管理技術の向上及び食鳥処理施設の整備・稼働並びに付加価値販売</p>					出荷羽数 (H19: 1万羽) (H25: 5.5万羽) (H26: 5.2万羽)	12.5万羽	
関係者間(事業者、村、県)の協議							
飼養管理技術の向上(施設整備による孵化率・育成率の向上、研修会の実施等)							
食鳥処理・加工施設の整備							
はちきん地鶏の付加価値販売、加工品の開発・販路開拓							



第3期計画					H32以降	指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	指標		目標値(H31)	
 <p><大川黒牛>繁殖雌牛の増頭、繁殖牛の1年1産体制の確立、70頭出荷体制の構築(繁殖肥育一貫経営)</p>					黒牛の販売額 (H19: 70,000千円) (H25: 45,000千円) (H26: 34,000千円)	54,900千円	
繁殖雌牛の増頭							
繁殖牛舎の改修							
 <p><土佐はちきん地鶏>飼養管理技術の向上及び食鳥処理施設の整備・稼働並びに付加価値販売</p>					出荷羽数 (H19: 1万羽) (H25: 5.5万羽) (H26: 5.2万羽)	12.5万羽	
関係者間(事業者、村、県)の協議							
飼養管理技術の向上(施設整備による孵化率・育成率の向上、研修会の実施等)							
食鳥処理・加工施設の整備							
はちきん地鶏の付加価値販売、加工品の開発・販路開拓 堆肥舎の整備							

修正項目(案)

【嶺北地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
11 嶺北の山林をフィールドとした「森の教習所」による担い手育成の取組 《土佐町》	集落活動センター「いしはらの里」を拠点に、主に土佐町内の山林(石原地区校下林、町有林等)等をフィールドとする実践的な林業および林産業研修の企画・実施・コーディネートを行う。本事業を通じて林業の担い手を育成するとともに、フィールドとなる山林の維持管理及び集落活動センターの収益向上を図る。	・いしはらの里協議会 ・土佐町 ・民間事業者((株)FPI)等	アクションプランの取組開始:H28 ・研修内容の検討(H28) ・受入体制の整備(H28) ◆地域の林業家や民間事業者、県立林業学校等と連携し、H29.1月の試行的実施に向けて研修内容の検討及び受入体制の整備ができた。	・研修生の確保 ・研修内容の拡充 ・コーディネーター人材の確保	◆取組内容の検討及び受入体制の整備 ◆嶺北の山林をフィールドとした「森の教習所」による担い手育成の取組

修正前



【嶺北地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
24 集落活動センターいしはらの里による地域活性化の取組 《土佐町》	石原コミュニティセンターを活用し、石原地区の山林をフィールドとした林業研修「森の教習所」をはじめ、交流人口の拡大や地元木材を活用した住宅プロジェクトを実施することにより、集落活動センターの収益向上を図る。	・いしはらの里協議会 ・合同会社いしはらの里 ・土佐町 ・民間事業者((株)FPI)等	アクションプランの取組開始:H28 ・研修内容の検討(H28) ・受入体制の整備(H28) ・林業研修の実施(H29)	・研修生の確保 ・研修内容の拡充 ・コーディネーター人材の確保	◆交流人口の拡大 ◆宿泊施設整備・運営 ◆住宅プロジェクトの実施 ◆嶺北の山林をフィールドとした「森の教習所」による担い手育成の取組

修正後

第3期計画					H32以降	指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	指標		目標値(H31)	
 取組内容の検討及び受入体制の整備 内容の検討 各種許認可、届出等手続 受入体制の整備					林業研修者 (H27:0人) 研修者の宿泊日数 (H27:0泊)	60人(H28~31累 計) 360泊(H28~31累 計)	
 嶺北の山林をフィールドとした「森の教習所」による担い手育成の取組 試行的実施 研修内容の拡充							



第3期計画					H32以降	指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	指標		目標値(H31)	
	交流人口の拡大 試行的受入				 宿泊者数(延べ) (H28:0人)	500人	
	宿泊施設整備・運営 改修の検討	改修			 受入体制整備・本格的な受入 施設の運営		
	住宅プロジェクトの実施 モデルハウス建築・PR・貸し出し				 プロジェクトの実施		
嶺北の山林をフィールドとした「森の教習所」による担い手育成の取組 内容の検討 各種許認可、届出等手続 受入体制の整備					 林業研修者 (H27:0人)	60人(H28~31累 計)	
	試行的実施				研修内容の拡充		

修正項目(案)

【嶺北地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
12 嶺北地域の特産品販路 拡大への支援 《嶺北地域全域》 修正前	移住者等を受入している農業法人等が大阪圏の関係者(行政、企業等)と連携し、小規模農家等の直接販売向けの農産物を集約して大阪圏の小中規模飲食店等を対象に販売する仕組みをつくる。あわせて、ネット販売等により嶺北地域の特産品の地産外商を促進する。	・(株)れいほく未来 ・NPO法人土佐さめうら観光協会 ・ポータルサイト利用事業者 ・土佐町 ・本山町 ・大豊町 ・大川村	アクションプラン取組開始:H28 ・受発注管理システムを活用した農産物の直接販売(H28) ・販売商品(農産物)の発掘(H28) ・商談会への参加(H28) ◆直接販売(外商)の仕組みづくりを目指し、生産・集荷体制が整ってきた。 ・ポータルサイトによる嶺北産品の販売	・効率的な集荷方法等、集荷システムの確立 ・販売商品の更なる発掘 ・ポータルサイトのリニューアルによる販売額の増加	◆県外飲食店との農産物の直接販売 ◆ポータルサイトの定着・広報・販売促進



【嶺北地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
11 嶺北地域の特産品販路 拡大への支援 《嶺北地域全域》 修正後	道の駅土佐さめうらの拠点機能を活かし、移住者等を受入している農業法人等が大阪圏の関係者(行政、企業等)と連携し、小規模農家等の直接販売向けの農産物を集約して大阪圏の小中規模飲食店等を対象に販売する仕組みをつくる。あわせて、ネット販売等により嶺北地域の特産品の地産外商を促進する。	・(株)れいほく未来 ・NPO法人土佐さめうら観光協会 ・ポータルサイト利用事業者 ・土佐町 ・本山町 ・大豊町 ・大川村	アクションプラン取組開始:H28 ・受発注管理システムを活用した農産物の直接販売(H28) ・販売商品(農産物)の発掘(H28～) ・商談会への参加(H28～) ◆直接販売(外商)の仕組みづくりを目指し、生産・集荷体制が整ってきた。 ・ポータルサイトによる嶺北産品の販売	・効率的な集荷方法等、集荷システムの確立 ・販売商品の更なる発掘 ・ポータルサイトのリニューアルによる販売額の増加	◆道の駅を活用した農産物の販売強化及び観光情報の発信 ◆県外飲食店との農産物の直接販売 ◆ポータルサイトの定着・広報・販売促進

第3期計画					H32以降	指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	指標		目標値(H31)	
<p>県外飲食店との農産物の直接販売</p> <p>システム(集荷、出荷、受発注管理(電子)、マネジメント組織)構築</p> <p>集出荷・取引強化</p> <p>新たな販路開拓、PR活動</p>					<p>県外飲食店等との直接取引による販売額 (H27:0円)</p>	85,200千円	
<p>ポータルサイトの定着・広報・販売促進</p> <p>ポータルサイト「土佐さめうらe商店街」の定着(随時、運営体制の検証・改善)</p> <p>掲載商品(セット商品を含む)の検証・改善</p> <p>広報及び販売促進活動の展開</p>							<p>ポータルサイト年間売上高 (H24:391千円) (H26:564千円)</p>



第3期計画					H32以降	指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	指標		目標値(H31)	
<p>道の駅を活用した農産物の販売強化及び観光情報の発信</p> <p>直販機能の強化に向けた検討</p> <p>直販機能の強化</p> <p>土佐町等の情報発信拠点としての機能の充実</p>					<p>県外飲食店等との直接取引による販売額 (H27:0円)</p>	85,200千円	
<p>県外飲食店との農産物の直接販売</p> <p>システム(集荷、出荷、受発注管理(電子)、マネジメント組織)構築</p> <p>集出荷・取引強化</p> <p>新たな販路開拓、PR活動</p>							<p>ポータルサイト年間売上高 (H24:391千円) (H26:564千円)</p>
<p>ポータルサイトの定着・広報・販売促進</p> <p>ポータルサイト「土佐さめうらe商店街」の定着(随時、運営体制の検証・改善)</p> <p>掲載商品(セット商品を含む)の検証・改善</p> <p>広報及び販売促進活動の展開</p>							

修正項目(案)

【嶺北地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
17 嶺北地域の連携による交流人口の拡大 《嶺北地域全域》	観光を軸として、吉野川の水源地域における豊富な地域資源や特色のある取組などを横断的につなぐ場と仕組みをつくることにより、「れいほく」の魅力をグレードアップさせるとともに、一元的な情報発信や教育旅行の誘致を通じて、交流人口の拡大を目指す。	・嶺北地域観光・交流推進協議会 ・本山村 ・大豊町 ・土佐町 ・大川村	アクションプランの取組開始:H22 ・H22.10月に嶺北地域観光・交流推進協議会を設立 ・観光・交流パンフレット「逢える」の製作・PR活動への活用、ガイド研修、モニターツアーの実施など、嶺北4町村が連携した活動を実施(H22~28) ・大学等との連携した旅行商品の磨き上げなど、地域外の誘客推進と人材の有効活用取組の実施(H22~28) ・教育旅行の受け皿となる民泊の研修会の実施(H25~28) ・広域観光組織の機能強化に向けた視察研修の実施(H28) ・観光・交流パンフレットの見直し及び改定(H28) ◆嶺北地域観光・交流推進協議会において、4町村が連携して、モニターツアーや商品開発に取り組み、「れいほく」全体の広域的な交流人口の拡大につなげる事ができた。	・広域観光を担うコーディネート組織(人)の機能強化 ・継続した営業体制の構築に向けた人材の確保・育成 ・教育旅行の誘致促進に向けた受入先の確保	◆観光・交流人口の誘致事業 ◆広域観光推進体制の強化 ◆教育旅行の受け皿となる民泊の推進
修正前					



【嶺北地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
17 嶺北地域の連携による交流人口の拡大 《嶺北地域全域》	観光を軸として、吉野川の水源地域における豊富な地域資源や特色のある取組などを横断的につなぐ場と仕組みをつくることにより、「れいほく」の魅力をグレードアップさせるとともに、一元的な情報発信や教育旅行の誘致を通じて、交流人口の拡大を目指す。	・嶺北地域観光・交流推進協議会 ・本山村 ・大豊町 ・土佐町 ・大川村	アクションプランの取組開始:H22 ・H22.10月に嶺北地域観光・交流推進協議会を設立 ・観光・交流パンフレット「逢える」の製作・PR活動への活用、ガイド研修、モニターツアーの実施など、嶺北4町村が連携した活動を実施(H22~) ・大学等との連携した旅行商品の磨き上げなど、地域外の誘客推進と人材の有効活用取組の実施(H22~) ・教育旅行の受け皿となる民泊の研修会の実施(H25~) ・広域観光組織の機能強化に向けた視察研修の実施(H28) ・観光・交流パンフレットの見直し及び改定(H28) ・地域博覧会の開催に向けた検討の実施(H28) ◆嶺北地域観光・交流推進協議会において、4町村が連携して、モニターツアーや商品開発に取り組み、「れいほく」全体の広域的な交流人口の拡大につなげる事ができた。	・広域観光を担うコーディネート組織(人)の機能強化 ・継続した営業体制の構築に向けた人材の確保・育成 ・教育旅行の誘致促進に向けた受入先の確保	◆観光・交流人口の誘致事業 ◆広域観光推進体制の強化 ◆教育旅行の受け皿となる民泊の推進 ◆嶺北地域における地域博覧会の開催
修正後					

第3期計画					H32以降	指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	指標		目標値(H31)	
観光・交流人口の誘致事業					→	公共関連宿泊施設での宿泊者数 (H19:8,975人) (H22:9,687人) (H26:11,461人)	12,400人
地域情報の充実と効果的な情報発信							
<ul style="list-style-type: none"> ・ターゲット地域の旅行会社に対する販売促進活動 ・地域産品の販売イベント等との共催による量販店や街頭での観光PR ・旅行会社とタイアップした旅行商品の開発や販売促進活動や県外企業に対する企業研修及びUCSR活動、福利厚生事業用プラン(体験プログラム)のセールス 							
広域観光推進体制の強化					→	民泊受入世帯数 (H26:49世帯)	120世帯
プラットフォームづくりに向けた検討							
観光産業化方針、中長期計画の策定		事務局体制の構築					
町村、関係団体、県等との協議及び、人材育成も含めた機能強化					→	教育旅行の受皿となる民泊の推進	120世帯
地域の活動者や行政との連携による研修会の実施							
旅行会社等への教育旅行のセールス							



第3期計画					H32以降	指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	指標		目標値(H31)	
観光・交流人口の誘致事業					→	公共関連宿泊施設での宿泊者数 (H19:8,975人) (H22:9,687人) (H26:11,461人)	29,000人
地域情報の充実と効果的な情報発信							
<ul style="list-style-type: none"> ・ターゲット地域の旅行会社に対する販売促進活動 ・地域産品の販売イベント等との共催による量販店や街頭での観光PR ・旅行会社とタイアップした旅行商品の開発や販売促進活動や県外企業に対する企業研修及びUCSR活動、福利厚生事業用プラン(体験プログラム)のセールス 							
広域観光推進体制の強化					→	民泊受入世帯数 (H26:49世帯)	120世帯
プラットフォームづくりに向けた検討							
観光産業化方針、中長期計画の策定		事務局体制の構築					
町村、関係団体、県等との協議及び、人材育成も含めた機能強化					→	教育旅行の受皿となる民泊の推進	120世帯
地域の活動者や行政との連携による研修会の実施							
旅行会社等への教育旅行のセールス							
嶺北地域における地域博覧会の開催 開催に向けた検討 博覧会推進協議会の立ち上げ 博覧会推進協議会の運営 事業計画の策定 博覧会の準備 博覧会の開催					→		

修正項目(案)

【嶺北地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
23 大豊町西峯地区におけるビジネス創出による地域活性化の取組 《大豊町》 地域産業クラスター関連 (嶺北畜産の林業クラスターによる地域の活性化) <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">修正前</div>	集落活動センター西峯が、遊休施設(廃校のグラウンド)を活用し、新たなビジネスとして、林業用苗木(コンテナ苗)の生産・販売に取り組む、地域の活性化を目指す。	・西峯地区活性化推進委員会 ・大豊町	アクションプランの取組開始:H28 ・育苗ハウスの整備(H28) ・試験生産:19,880本(H28) ・栽培管理に関する勉強会の実施(H28)	・安定した栽培の確立 ・コンテナへの移植及び出荷の作業における人員確保	◆スギ苗木(コンテナ苗)生産

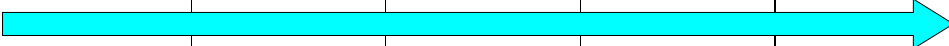


【嶺北地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
23 大豊町西峯地区におけるビジネス創出による地域活性化の取組 《大豊町》 地域産業クラスター関連 (嶺北地域の林業クラスターによる地域の活性化) <div style="background-color: black; color: white; border-radius: 10px; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">修正後</div>	集落活動センター西峯が、遊休施設(廃校のグラウンド)を活用し、新たなビジネスとして、林業用苗木(コンテナ苗)の生産・販売に取り組む、地域の活性化を目指す。	・西峯地区活性化推進委員会 ・大豊町	アクションプランの取組開始:H28 ・育苗ハウスの整備(H28) ・試験生産:19,880本(H28) ・栽培管理に関する勉強会の実施(H28) ◆規格に適合した苗のすべてを出荷できた。	・安定した栽培の確立 ・コンテナへの移植及び出荷の作業における人員確保 ・苗の管理体制の強化	◆スギ苗木(コンテナ苗)生産

第3期計画					H32以降	指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	指標		目標値 (H31)	
					生産本数 (H27:1,920本)	2万本	
スギ苗木(コンテナ苗)生産 <div style="border: 1px dashed black; padding: 2px; display: inline-block; margin-bottom: 5px;">試験生産</div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; width: 100%;"> <div style="border: 1px dashed black; padding: 2px; display: inline-block; margin-bottom: 5px;">実施体制の確立</div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 2px; display: inline-block; margin-bottom: 5px;">施設整備(栽培施設)</div> </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 2px; display: inline-block; margin-top: 10px; width: 80%; margin-left: auto; margin-right: auto;">本格生産・販売</div>							



第3期計画					H32以降	指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	指標		目標値 (H31)	
					生産本数 (H27:1,920本)	4万本	
スギ苗木(コンテナ苗)生産 <div style="border: 1px dashed black; padding: 2px; display: inline-block; margin-bottom: 5px;">試験生産</div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; width: 100%;"> <div style="border: 1px dashed black; padding: 2px; display: inline-block; margin-bottom: 5px;">実施体制の確立</div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 2px; display: inline-block; margin-bottom: 5px;">施設整備(栽培施設)</div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 2px; display: inline-block; margin-bottom: 5px; margin-left: 20px;">施設整備(栽培施設)</div> </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 2px; display: inline-block; margin-top: 10px; width: 80%; margin-left: auto; margin-right: auto;">本格生産・販売</div>							

修正項目(案)





【嶺北地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
14 ばうむ合同会社による地域資源(木材・米)活用の取組 《本山町》 地域産業クラスター関連(嶺北畜産の林業クラスターによる地域の活性化)	嶺北産材やブランド米などの地域資源を活用し、新たな産業を生み出す活動を通じて、地域の活性化を目指す。	ばうむ合同会社 本山町	アクションプランの取組開始:H21 <木材製品の製造・販売> ・杉目フリーパネルや学習机等の製造販売(H21~28) ・レーザー加工機の導入による「もくレース」等オリジナル木製雑貨の開発と製造販売(H22~28) ・木工教室や親子学習机づくり体験ツアー等の実施(H22~28) ・インターネットや県外への営業による販路拡大・PR活動(H21~28) ・産業振興推進総合支援事業費補助金を活用したレーザー加工機の増設・工場の拡張(H28) ・生産管理等を担う管理職の配置(H28.7月) ◆レーザー加工したオリジナル木製雑貨が評価を得て、ノベルティグッズ等を受注し、売上増につながった。 ◆親子学習机づくり体験ツアーが好評でツアーを増設するなど、嶺北産材のPR、交流人口の拡大に資することができた。 <米焼酎の製造・販売> ・産業振興推進総合支援事業費補助金を活用した地元ブランド米加工品「米焼酎」の製造施設の整備(H24) ・「米焼酎」の製造販売及び営業・販促活動(H26.2月~) ・沖縄以外で初となる「泡盛」の製造販売(H28.6月~) ・クラウドファンディングを活用した「ワンカップ泡盛」の製造販売(H28.12月~) ◆泡盛の新発売を機に販売額が増加した。	<木材製品の製造・販売> ・生産体制が脆弱 ・売上のさらなる増加 <米焼酎の製造・販売> ・売上の増加 ・認知度の向上	◆生産性の向上 ◆販路拡大・PR活動 ◆新商品の開発
修正前					








【嶺北地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
13 ばうむ合同会社による地域資源(木材・米)活用の取組 《本山町》 地域産業クラスター関連(嶺北地域の林業クラスターによる地域の活性化)	嶺北産材やブランド米などの地域資源を活用し、新たな産業を生み出す活動を通じて、地域の活性化を目指す。	ばうむ合同会社 本山町	アクションプランの取組開始:H21 <木材製品の製造・販売> ・杉目フリーパネルや学習机等の製造販売(H21~) ・レーザー加工機の導入による「もくレース」等オリジナル木製雑貨の開発と製造販売(H22~) ・木工教室や親子学習机づくり体験ツアー等の実施(H22~) ・インターネットや県外への営業による販路拡大・PR活動(H21~) ・クラウドファンディングによる資金調達・企業PR(H26~27) ・産業振興推進総合支援事業費補助金を活用したレーザー加工機の増設・工場の拡張(H28) ・生産管理等を担う管理職の配置(H28.7月) ◆レーザー加工したオリジナル木製雑貨が評価を得て、ノベルティグッズ等を受注し、売上増につながった。 ◆レーザー加工機の増設・工場の拡張により、生産体制が確った。 ◆親子学習机づくり体験ツアーが好評でツアーを増設するなど、嶺北産材のPR、交流人口の拡大に資することができた。 <米焼酎の製造・販売> ・産業振興推進総合支援事業費補助金を活用した地元ブランド米加工品「米焼酎」の製造施設の整備(H24) ・米焼酎(玄米仕込)の製造販売(H26.2月) ・酒・小売業者、飲食店への営業及び出展販売(H26~) ・米焼酎(白米仕込)の製造販売(H28.1月) ・沖縄以外で初となる泡盛の製造販売(H28.6月) ・クラウドファンディングを活用した「ワンカップ泡盛」の製造販売(H28~29) ・焼酎・泡盛の新商品開発に着手(H29) ◆泡盛の新発売を機に販売額が増加した。	<木材製品の製造・販売> ・生産体制が脆弱 ・売上のさらなる増加 <米焼酎の製造・販売> ・売上の増加 ・認知度の向上	◆生産性の向上 ◆販路拡大・PR活動 ◆商品開発 ◆新商品の開発
修正後					

第3期計画					H32以降	指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	指標		目標値(H31)	
生産性の向上						木工製品全般の売上高 (H19: -) (H23: 25,000千円) (H26: 33,000千円)	89,000千円
品質確保・生産拡大・安定供給に向けた取組							
施設設備整備							
販路拡大・PR活動							
県内外の企業・消費者に向けた多様な手法による販売促進・PR活動							
販路拡大・PR活動						焼酎の販売額 (H26: 4,655千円)	19,590千円
県内外の販売業、飲食店、消費者に向けた多様な手法による販売促進・PR活動							
新商品の開発							
新商品の開発							



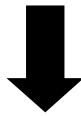
第3期計画					H32以降	指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	指標		目標値(H31)	
生産性の向上						木工製品全般の売上高 (H19: -) (H23: 25,000千円) (H26: 33,000千円)	89,000千円
品質確保・生産拡大・安定供給に向けた取組							
施設設備整備							
販路拡大・PR活動							
県内外の企業・消費者に向けた多様な手法による販売促進・PR活動							
							
商品開発 新商品・新ブランドの開発							
販路拡大・PR活動						焼酎の販売額 (H26: 4,655千円)	19,590千円
県内外の販売業、飲食店、消費者に向けた多様な手法による販売促進・PR活動							
新商品の開発							
新商品の開発							

修正項目(案)

【嶺北地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
15 碁石茶を中心とした加工品ビジネスの展開 《大豊町》	高知県大豊町で生産される日本で唯一の微生物発酵茶「碁石茶」の需要拡大に取り組み、400余年継承される製造技術の伝承と農家所得の向上を図る。	・大豊町碁石茶協同組合 ・(株)大豊ゆとりファーム ・大豊町	アクションプランの取組開始:H21 ・加工品づくりビジネスの展開(H21~23) ・碁石茶を中心とした加工品ビジネスの展開(H24~28) ・碁石茶製造アルバイトの導入(H28) ・機能性表示に向けた臨床試験の実施(H28) ◆H26.12月末時点までは、過年度の在庫を大量に持つ状況が続き、H24~26は生産調整せざるを得ないなど、厳しい状況であった。 この間、カートカンやティーバッグなど入口商品の開発を行い、地道な販促活動を行うことで、主に関東圏での取引先が徐々に増え、全国に商流を持つ食品卸業者との取引も開始された。H27.3月に全国放送のテレビ番組に取り上げられたことから、一気に知名度が向上し、注文が殺到、過年度在庫の課題は一掃された。 H28は生産量を確保するための新たな取組として、碁石茶の生産体験を兼ねたアルバイトを導入したところ、多くの参加者があり、移住にもつながってきている。	・新規生産者の育成・確保 ・原材料となる茶葉(茶園)の確保 ・販路の維持・拡大 ・機能性表示等の活用による付加価値の向上	◆碁石茶を中心とした加工品ビジネスの展開

修正前



【嶺北地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
14 碁石茶を中心とした加工品ビジネスの展開 《大豊町》	高知県大豊町で生産される日本で唯一の微生物発酵茶「碁石茶」の需要拡大に取り組み、400余年継承される製造技術の伝承と農家所得の向上を図る。	・大豊町碁石茶協同組合 ・(株)大豊ゆとりファーム ・大豊町	アクションプランの取組開始:H21 ・加工品づくりビジネスの展開(H21~23) ・碁石茶を中心とした加工品ビジネスの展開(H24~) ・碁石茶親衛隊(碁石茶製造アルバイト)の導入(H28~29) ・機能性表示に向けた碁石茶のヒト臨床試験の実施(H28) ・碁石茶生産の担い手となる地域おこし協力隊の導入(H29~) ◆H26.12月末時点までは、過年度の在庫を大量に持つ状況が続き、H24~26は生産調整せざるを得ないなど、厳しい状況であった。 この間、カートカンやティーバッグなど入口商品の開発を行い、地道な販促活動を行うことで、主に関東圏での取引先が徐々に増え、全国に商流を持つ食品卸業者との取引も開始された。H27.3月に全国放送のテレビ番組に取り上げられたことから、一気に知名度が向上し、注文が殺到、過年度在庫の課題は一掃された。 H28からは生産量を確保するための新たな取組として、碁石茶の生産体験を兼ねたアルバイト「碁石茶親衛隊」を導入したところ、全国各地から多くの参加者があり、 <u>嶺北地域へ</u> の移住にもつながってきている。	・新規生産者の育成・確保 ・原材料となる茶葉(茶園)の確保 ・販路の維持・拡大 ・機能性表示等の活用による付加価値の向上	◆碁石茶を中心とした加工品ビジネスの展開

修正後

第3期計画					H32以降	指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	指標		目標値(H31)	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> 碁石茶を中心とした加工品ビジネスの展開 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px; text-align: center;"> 新規生産者(組合員)の育成・確保 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px; text-align: center;"> 原材料となる茶葉(茶園)の確保 </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 20%;">碁石茶製造施設の整備</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 60%; text-align: center;">共同利用による生産拡大、OJT</div> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px; text-align: center;"> 商品開発、PR活動、販路拡大 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> 機能性表示等への対応(臨床試験等データの蓄積) </div>					碁石茶関連商品の総販売額 (H19:0.1億円) (H22:0.2億円) (H26:0.1億円)	0.6億円	



第3期計画					H32以降	指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	指標		目標値(H31)	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> 碁石茶を中心とした加工品ビジネスの展開 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px; text-align: center;"> 新規生産者(組合員)の育成・確保 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px; text-align: center;"> 原材料となる茶葉(茶園)の確保 </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 20%;">碁石茶製造施設の整備</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 60%; text-align: center;">共同利用による生産拡大、OJT</div> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px; text-align: center;"> 商品開発、PR活動、販路拡大 </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;">機能性表示等への対応(臨床試験等データの蓄積)</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 40%; text-align: center;">機能性表示申請に向けての手続き</div> </div>					碁石茶関連商品の総販売額 (H19:0.1億円) (H22:0.2億円) (H26:0.1億円)	0.6億円	

修正項目(案)

【嶺北地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
18 嶺北広域観光アウトドアの星づくり 《嶺北地域全域》	嶺北地域の豊かな自然を活かし、全国ブランドを有する企業の監修によるアウトドア拠点施設を整備し、広域観光の推進につなげる。	・本山市 ・大豊町 ・土佐町 ・大川村 ・本山市白壁山・工石山保全活用推進協議会	アクションプランの取組開始(H28) ・アウトドア拠点の整備に向けた基本計画の策定及び実施設計の策定開始(H28) ・カヌー、ラフティング、山岳等アウトドアインストラクター養成の実施(H28) ◆インストラクター等の人材育成が着実に進んでいる。 ＜白壁山・工石山＞ ・白壁山ガイド研修・モニターツアーの実施(H28) ・工石山「紅れん石」の県天然記念物指定に向けた申請準備(H28)	・アウトドア拠点施設整備に向けた管理・運営体制等の検討 ＜白壁山・工石山＞ ・天然記念物としての保護、観光客に配慮したハード面の整備 ・ガイドの確保	◆拠点施設の整備・運営 ◆誘客の促進 ◆受入体制(白壁山・工石山)の整備(ハード) ◆受入体制(白壁山・工石山)の整備(ソフト) ◆観光客(白壁山・工石山)の誘致
修正前					



【嶺北地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
18 嶺北広域観光アウトドアの星づくり 《嶺北地域全域》	嶺北地域の豊かな自然を活かし、全国ブランドを有する企業の監修によるアウトドア拠点施設を整備し、広域観光の推進につなげる。	・本山市 ・大豊町 ・土佐町 ・大川村 ・本山市白壁山・工石山保全活用推進協議会	アクションプランの取組開始(H28) ・アウトドア拠点の整備に向けた基本計画の策定及び実施設計の策定開始(H28～29) ・カヌー、ラフティング、山岳等アウトドアインストラクター養成の実施(H28～) ◆インストラクター等の人材育成が着実に進んでいる。 ＜白壁山・工石山＞ ・白壁山・工石山保全活用推進協議会(H28～) ・ガイド研修・モニターツアーの実施(H28～) ・工石山「紅れん石」の県天然記念物指定申請(H28) ・登山コース紹介リーフレットの作成(H29) ◆白壁山の林業遺産認定(H29)、工石山「紅れん石」の県天然記念物指定(H29)により、登山客・観光客への訴求力が向上した。	・アウトドア拠点施設整備に向けた管理・運営体制等の検討 ＜白壁山・工石山＞ ・天然記念物としての保護、観光客に配慮したハード面の整備 ・ガイドの確保	◆拠点施設の整備・運営 ◆誘客の促進 ◆受入体制(白壁山・工石山)の整備(ハード) ◆受入体制(白壁山・工石山)の整備(ソフト) ◆観光客(白壁山・工石山)の誘致
修正後					

第3期計画					指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	H32以降	指標	目標値(H31)
拠点施設の整備・運営 施設実設計、施設整備工事 管理運営方法の検討、決定 体験インストラクターの育成 カヌー指導者の招致					アウトドア拠点施設の 利用者数 (H27:0人)	50,000人 (H28~31累計)
拠点施設の運営、インストラクターの養成 カヌー人材の育成						
誘客の促進 ・新たな体験プログラムの開発、磨き上げ ・4町村での連携方策の検討、実践 ・旅行会社等へのセールス・プロモーション活動、地域情報も含めた情報発信						
受入体制(白髪山・工石山)の整備(ハード) 遊歩道の整備 ベンチ・案内版等の補修						
受入体制(白髪山・工石山)の整備(ソフト) ガイドの養成研修・スキルアップ研修の実施						
観光客(白髪山・工石山)の誘致 白髪山・工石山観光のPR 民間企業と連携した誘客					白髪山・工石山への 観光客数 (H24~28累計:58人)	200人 (H28~31累計)



第3期計画					指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	H32以降	指標	目標値(H31)
拠点施設の整備・運営 施設実設計、施設整備工事 管理運営方法の検討、決定 体験インストラクターの育成 カヌー指導者の招致					アウトドア拠点施設の 利用者数 (H27:0人)	50,000人 (H28~31累計)
拠点施設の運営、インストラクターの養成 カヌー人材の育成						
誘客の促進 ・新たな体験プログラムの開発、磨き上げ ・4町村での連携方策の検討、実践 ・旅行会社等へのセールス・プロモーション活動、地域情報も含めた情報発信						
受入体制(白髪山・工石山)の整備(ハード) 遊歩道の整備 ベンチ・案内版等の補修						
受入体制(白髪山・工石山)の整備(ソフト) ガイドの養成研修・スキルアップ研修の実施						
観光客(白髪山・工石山)の誘致 白髪山・工石山観光のPR 民間企業と連携した誘客					白髪山・工石山への 観光客数 (H24~28累計:58人)	200人 (H28~31累計)

修正項目(案)

【嶺北地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
<p>19 嶺北地域における山岳観光の拠点整備 《嶺北地域全域》</p> <p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">修正前</p>	<p>四国山脈、吉野川、さめうら湖といった自然の資源を活かし、嶺北地域を中心として、近隣エリアの資源をつなぎ、自然や人とのふれあい・交流を深める新たな観光コンテンツをつくり、交流人口の拡大を目指す。</p>	<p>・大川村 ・(一社)大川村ふるさとむら公社 ・本山町 ・大豊町 ・土佐町</p>	<p>アクションプランの取組開始:H28 ・モニターツアーを通じた体験プログラムの磨き上げ(H28) ・白滝の里観光交流基本構想策定委員会及び白滝の里観光交流基本構想ワークショップの開催(H28)</p>	<p>・運営主体の体制の強化に必要な人材の確保</p>	<p>◆地域資源を活用した体験プログラムの開発と磨き上げ</p> <p style="text-align: center;">◆白滝の里再整備</p>



【嶺北地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
<p>19 嶺北地域における山岳観光の拠点整備 《嶺北地域全域》</p> <p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">修正後</p>	<p>四国山脈、吉野川、さめうら湖といった自然の資源を活かし、嶺北地域を中心として、近隣エリアの資源をつなぎ、自然や人とのふれあい・交流を深める新たな観光コンテンツをつくり、交流人口の拡大を目指す。</p>	<p>・大川村 ・(一社)大川村ふるさとむら公社 ・本山町 ・大豊町 ・土佐町</p>	<p>アクションプランの取組開始:H28 ・モニターツアーを通じた体験プログラムの磨き上げ(H28～) ・白滝の里観光交流基本構想策定委員会及び白滝の里観光交流基本構想ワークショップの開催(H28) ・石鎚山系連携事業協議会との連携(H29～) ・大川村プロジェクト観光・交流部会の開催(H29)</p>	<p>・運営主体の体制の強化に必要な人材の確保</p>	<p>◆地域資源を活用した体験プログラムの開発と磨き上げ</p> <p style="text-align: center;">◆白滝の里再整備</p>

第3期計画					H32以降	指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	指標		目標値(H31)	
<p>地域資源を活用した体験プログラムの開発と磨き上げ</p> <p>体験プログラム(ロゲイニング、ロングトレイル、環境学習等)の開発・試行</p> <p>運営主体の体制強化</p> <p>地域情報も含めた情報発信、企業等への営業活動</p>					<p>体験プログラムの磨き上げ、受入体制の整備</p> <p>インストラクターの養成</p>	<p>白滝の里施設利用者数 (H26:6,175人)</p>	<p>15,000人</p>
<p>白滝の里再整備</p> <p>基本構想の策定</p> <p>基本計画等の策定</p> <p>トレイルコース整備、施設改修等</p>							



第3期計画					H32以降	指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	指標		目標値(H31)	
<p>地域資源を活用した体験プログラムの開発と磨き上げ</p> <p>体験プログラム(ロゲイニング、ロングトレイル、環境学習等)の開発・試行</p> <p>運営主体の体制強化</p> <p>地域情報も含めた情報発信、企業等への営業活動</p>					<p>体験プログラムの磨き上げ、受入体制の整備</p> <p>インストラクターの養成</p>	<p>白滝の里施設利用者数 (H26:6,175人)</p>	<p>15,000人</p>
<p>白滝の里再整備</p> <p>基本構想の策定</p> <p>基本計画の策定に向けた検討</p> <p>基本計画、基本設計、実施設計等の策定</p> <p>施設改修等</p>							

修正項目(案)

【嶺北地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
22 学生・若者と地域の連携による事業創出支援プラットフォーム「ONEれいほく」の構築 《嶺北地域全域》	県内大学のOBや学生たちが中心となって、若者と地域をつなぐ組織を構築し、地域活性化の具体的な企画・提案を行うとともに、地域からの協力要請(イベント、移住促進、学習支援等)にも応じる仕組みをつくることで地域への若者の流入・定着を目指す。	・NPO法人ONEれいほく ・高知大学 ・嶺北高校 ・本山町 ・大豊町 ・土佐町 ・大川村	アクションプランの取組開始:H28 ・NPO法人登記(H28.6月) ・若者が集う拠点の運営・イベントの開催(H28～) ・地域活性化に資する市町村事業等の受託(H28～) ・FAAVO高知サポーター会議事務局として地域活性化プロジェクトの企画等を支援(H28～) ◆ONEれいほくの活動に関わった若者が多数移住するなど、嶺北地域への若年層の流入に大きく寄与した。	・ONEれいほくとしての地域活性化プロジェクトの企画	◆プロジェクトの企画・実施
修正前					

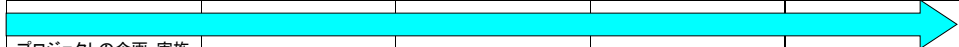
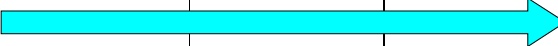


【嶺北地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
22 学生・若者と地域の連携による事業創出支援プラットフォーム「ONEれいほく」の構築 《嶺北地域全域》	県内大学のOBや学生たちが中心となって、若者と地域をつなぐ組織を構築し、地域活性化の具体的な企画・提案を行うとともに、地域からの協力要請(イベント、移住促進、学習支援等)にも応じる仕組みをつくることで地域への若者の流入・定着を目指す。	・NPO法人ONEれいほく ・高知大学 ・嶺北高校 ・本山町 ・大豊町 ・土佐町 ・大川村	アクションプランの取組開始:H28 ・NPO法人登記(H28.6月) ・若者が集う拠点の運営・イベントの開催(H28～) ・地域活性化に資する市町村事業等の受託(H28～) ・FAAVO高知サポーター会議事務局として地域活性化プロジェクトの企画等を支援(H28～) ・ONEれいほくの活動や田舎暮らしを体験するインターンシップ事業を開始(H29) ◆ONEれいほくの活動に関わった若者が多数移住するなど、嶺北地域への若年層の流入に大きく寄与した。	・ONEれいほくの強みを生かした地域活性化プロジェクトの実施 ・活動財源の確保	◆プロジェクトの企画・実施 ◆活動財源の検討・資金調達
修正後					

第3期計画				H32以降	指標及び目標	
H28	H29	H30	H31		指標	目標値(H31)
					プロジェクト数 (H27:0件)	7件
プロジェクトの企画・実施						
実施体制の確立						
行政や地域企業等への企画・提案及びニーズとのマッチング 拠点事業、情報発信事業、教育・交流事業(こども大学)、イベント・移住促進等						



第3期計画				H32以降	指標及び目標	
H28	H29	H30	H31		指標	目標値(H31)
					プロジェクト数 (H27:0件)	7件
プロジェクトの企画・実施						
実施体制の確立						
行政や地域企業等への企画・提案及びニーズとのマッチング 拠点事業、情報発信事業、教育・交流事業、イベント・移住促進等						
						
		活動財源の検討・資金調達 収益事業や資金調達方法の検討・実施				